

沖縄平和行進 感想文

日本海地本境港支部 植田 俊輝

今回、初めて沖縄平和行進に参加させていただき沖縄県が抱える基地問題について学び、様々な事を考えさせられました。

沖縄に住む人たちが長年にわたって、基地問題に悩まされている事を知り衝撃を受けました。本来日本の領土である沖縄でこれほど地元住民の意思が、無視されてしまう状況に疑問と怒りを覚えました。

ひめゆりの党や沖縄県平和記念資料館を見学させていただきました。

太平洋戦争当時の状況や人々の暮らしや、現地の人のお話を聞き沖縄が抱える過去と現在の問題についても深く考えさせられました。

沖縄の問題を日本全体の問題として、沖縄の負担を日本全体の問題として受け止め、一人一人が他人事ではなく、自分たちの社会問題として考えなくてはいけないと思いました。今後も関心を持ち続け自分に出来る事を考え、行動していきたいと思います。

今回沖縄支部の方々には空港でのお出迎えから始まり、行進では先頭に立って引っ張っていただき、BBQ や懇親会など素晴らしい催しも開いてくださり、基調な体験をさせていただいたことに、とても感謝しています。

日本海地方の方々とも行進で声をかけ助け合い、4日間苦楽をともにする中で、親睦を深めることが出来、忘れられない思い出になりました。こういったことで強まった結束を全港湾をはじめ日本海地方で、日々の活動や仕事に繋げていかななくてはいけないと思いました。